

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和2年2月12日
発信課	文化振興課
担当者	諸戸
連絡先	電話 内線 8-6329
	FAX
	E-mail

分類	<input checked="" type="radio"/> イベント・行事 <input type="radio"/> 募集 <input type="radio"/> 契約・入札 <input type="radio"/> 会議・説明会 <input type="radio"/> その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	3月1日(日曜日)～3月31日(火曜日)
発表項目 (行事名)	全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ—井上靖と台風」の開催について
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ—井上靖と台風」展を開催します。 市民への周知を図るため、取材及び報道についてよろしくお願い申し上げます。</p> <p>期 間 令和2年3月1日(日曜日)から3月31日(火曜日)まで 場 所 井上靖記念館(旭川市春光5条7丁目) 開館日 毎週火曜日から日曜日まで(月曜日は休館。) 開館時間 午前9時から午後5時まで 展示内容 ・井上靖の故郷、静岡県伊豆地方に大きな被害をもたらした狩野川台風について、井上靖が書き残した文章を災害の写真とともに展示します。</p>
添付資料	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無  企画展チラシ
報道(取材)に当たってのお願い	その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。 電話 51-1188 FAX 52-1740 担当 上田
備考	

3.11

文学館からのメッセージ

—井上靖と台風

開催期間

令和2年3月1日(日)～  
3月31日(火)

指定管理者 NPO 法人旭川文学資料友の会

井上靖記念館

〒070-0875

北海道旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-51-1188 / FAX 0166-52-1740

共催 井上靖記念文化財団

この全国文学館協議会の共同展示は、二〇一一年三月一日の東日本大震災を契機に開催されました。死者に対する鎮魂と被災者への慰謝を願う心から、当時の会長中村稔氏の提案に賛同した文学館が二〇一三年三月一斉に展示を始めました。

東日本大震災は、地震・津波という自然災害に加えて、原子力発電施設のメルトダウンによる放射能汚染が深刻な影響を多方面に与えました。汚染水の処理も今だにコントロールできず、廃炉の具体的な方策も進捗していません。

二〇一九年一〇月、台風一九号は豪雨と強風を連れて伊豆半島へ上陸し、太平洋側を北上しました。台風によって千曲川、那珂川、阿武隈川が氾濫し、一〇〇余名の人が亡くなり、二〇都県六万四〇〇〇棟が浸水し、図書や文化財も泥水に漬り、農林水産業は一五〇〇億を超える甚大な被害を受けました。復興途上の東北地方は再度のダメージを受けております。

人は過酷な体験を、記憶から消し去ろうとします。そうでなくても記憶は時間に洗われ変容し、忘却していきます。

多くの表現者が天災地変を直視し、多彩な表現を紡ぎ出してきました。それらの表現を収集し、展示し、保存していくことも文学館の使命であると考えます。ここに全国文学館協議会の各館は、この未曾有の大災害を直視し、記録に止め、死者たちへの鎮魂と哀悼、被災者への慰謝とコミュニティの復興を願って、共同展示を開催いたします。

二〇二〇年一月

全国文学館協議会  
会長 山崎一穎

3.11

文学館からのメッセージ

—井上靖と台風

開催期間

令和2年3月14日(日)～  
3月31日(火)

この全国文学館協議会共同展示は、2011年3月11日の東日本大震災を契機に開催されました。  
死者に対する鎮魂と被災者への感謝を願う心から、当時の会長中村稔氏(詩人・弁護士)の提案に賛同した文学館が2013年3月に一斉に展示を始めました。  
第8回目を迎える本年は全国32の文学館で開催いたします。

◎関連事業のご案内

読み聞かせグループ 空飛ぶペンギンと仲間たちによる  
『ハナミズキの道』他震災絵本の読み聞かせ

2020年3月14日(土)

午後1時30分から1時間程度

場 所 井上靖記念館ラウンジ  
定 員 30人  
申 込 電話またはFAXで  
入館料 無料

指定管理者 NPO法人旭川文学資料友の会

井上靖記念館

〒070-0875  
北海道旭川市春光5条7丁目  
TEL 0166-51-1188 / FAX 0166-52-1740  
共 催 井上靖記念文化財団